

のうがくかい
「なごやか農楽会」だより 77号

2024.2月(春)号



農業センター しだれ梅

なごやか農楽会からのお知らせ

～ 2024年度(23期)総会開催のご案内 ～

援農作業予定 (3～5月)

援農作業実績 (11～1月)

農家さん紹介 / あいちの伝統野菜などなど

なごやか農楽会からのお知らせ

令和6年度(23期)
なごやか農楽会総会のご案内

令和6年4月21日(日)9時30分 総会開催

令和6年度(23期)なごやか農楽会総会を開催いたします。

今年は、名古屋市農業センターのリニューアルが完了しますので、従来通り「名古屋市農業センターの指導館」にて開催します。

また、コロナ後となりましたので従来通り総会はまとめて開催することとします。(感染の蔓延等が発生した場合は指導館内で場所を分割するなど対応する場合もございます。できるだけマスクの着用をお願いします)また会場の都合により午前中の開催となります。具体的には次頁をご覧ください。

なごやか農楽会からのお知らせ

なごやか農楽会総会 ご案内

1. 開催日：令和6年4月21日（日）
2. 時間：9時30分～11時 総会
（受付9時00分～）
11時～12時 支部総会
3. 会場：名古屋市農業センター 指導館
4. 駐車料金：農業センターリニューアル後は、土・日の駐車料金は500円（1時間以上）となりましたのでお含みおきください。
5. その他：令和6年度なごやか農楽会の総会運営は会則に基づき会長が評議会に提案し評議会において審議の上決定させていただきます。

- ・当日は名札（修了証）を着用願います。
 - ・総会直前の総会のご案内は行いません。
- （本日よりにてご案内に替えます）ご承知願います

（お願い）

・総会受付にて令和6年度会費1,000円をお支払いください。

・当日欠席の方は4月30日までに以下の口座へ振込みをお願いいたします。

振込先：ゆうちょ銀行振替（記号12100）

口座名：なごやか農楽会

種類：普通口座 番号68446931

（他銀行からは、店番218 6844693）

（注1）当日、総会受付で代理徴収が出来ます。

（総会に参加されるお知合いの会員に会費をお預けし、お知合いの会員が代わりにお支払い頂く方法です。）

2024年度援農塾生の募集について

援農塾は2024年度の塾生を募集します。

入会をご希望の方は、次により応募願います。

- ・募集人数 10名（募集人員を上回る場合は抽選）
- ・応募資格 農楽会会員
（現塾生及び2023年度卒塾生を除く）
- ・募集締切 2024（令和6）年3月20日（水）
- ・連絡先等 事務局長佐藤宛
原則メールにて連絡願います。
se-satoh@k7.dion.ne.jp
メールによる連絡が出来ない方のみ。
090-4255-4217

援農塾は、農家の指導による畑の管理活動を推進するとともに会員による援農技術の向上を目指して、2022（令和3）年度に発足。【令和4年度、5年度農楽会総会資料をご覧ください】

活動（援農）場所【天白区池見】にて毎週土曜午前中2時間程活動。

2023年度塾生は19名。塾生は3年で卒塾。今回9名卒塾のため、新しい会員を募集する。

詳細は塾生決定の際、ご案内させていただきます。

評議会報告

報告・審議・検討事項

1 1月度会議（11月11日開催）

（1）農業センターまつり出展について 場所昨年と変更となり、広場になった。チラシ300枚配布。再入会希望1名あり、佐藤が後日意向を確認する。一人で畑をやっているという80代？の女性から「しんどいので、誰かに任せたい。手伝って欲しい」との話があり、都市農業課連絡先を紹介。

（2）12月2日研修について 事務局含め、午前17名、午後14名の予定。

（3）援農先農家の収穫体験の主催元を確認した。久野農園（港・中川）は名古屋市主催（都市農業課 早川）。その他は個人主催で実施（寺島はつえ、阪野明義、阪野文明、深谷浩彦、天空のアグリパーク、阪野克也）

（4）第23期農楽会総会開催に向けてのスケジュールを確認した。

（5）ボランティア育成講座について、来年も開催を予定しているが、多少運営に変更の可能性があり

（6）HPについて

会員ページについて、アクセス件付与してアクセス制限する。情報の流れは、事務局にて情報集約、内容精査、運営担当が編集・ホームページにアップする

1 2月度会議（休み）

1 月度会議（1月13日開催）

（1）保険 12月16日にてんぱく支部にて事故発生。援農作業中に「マダニ（と思われる）」に刺され、18日に病院で塗り薬と飲み薬を処方される。

（2）12月2日研修について 午前の講義は15名参加、午後の実習は11名参加。

（3）HP運営委員会進捗状況について 現在は、WordPress になれるためテストページで作業援農風景写真の整理と必要情報の収集 トップページの作成 を行っている。

（4）第23期農楽会開催開催に向けてのスケジュール。3月評議会総会資料を確認。

3月25日退会・休会者確定・4月評議会総会資料最終版確認、第23期予算案承認。

（5）援農塾の2024年度活動について「畑の管理活動を推進する援農塾の2024年度の活動について（案）」について説明・発足後3年が経過し、援農塾19名のうち9名が卒塾することから全会員を対象に新塾生10名を募集する。

援農作業予定 (3 ~ 5月)

てんぱく支部



ブドウの花切り

3月
ニンジン収穫
トウモロコシ・枝豆などの夏野菜の定植

4月
カボチャの定植

5月
ブドウの花切り
サツマイモ・カボチャの定植

みどり支部

支部会員へのお願い

援農作業風景の写真を募集しています。
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に
撮って下さい。支部長と相談の上。

3月
成田果樹園でみかんの整枝剪定
永井トマトで下葉刈り

4月
深谷畑でサツマイモ畑の耕運作業

5月
深谷畑でサツマイモ畑の定植作業

援農作業予定 (3～5月)

もりやま支部



ミニトマト収穫

3月

野菜収穫、畑整理・片付け、草取り
ブドウ皮むき
ブドウ棚アーチ屋根ビニール張り
ブルーベリー剪定・植替え

4月

野菜収穫、畑整理・片付け、草取り
ブドウ蔓切り・肩落とし
ブルーベリー鉢の植替え、ネット張り

5月

野菜収穫、畑整理・片付け、草取り
ブドウ房作り・脇芽かき・蔓切り
ウメ収穫、防草シート張り

港・中川支部



エダマメの収穫

3月

トマト箱作り、ミツバの出荷調製、野菜畑の除草
野菜収穫（サトイモ、ニンジンなど）
野菜播種（トウモロコシ、エダマメなど）
野菜苗の鉢上げ（カボチャ、キュウリなど）
ジャガイモ植付け、エダマメ定植・土寄せ

4月

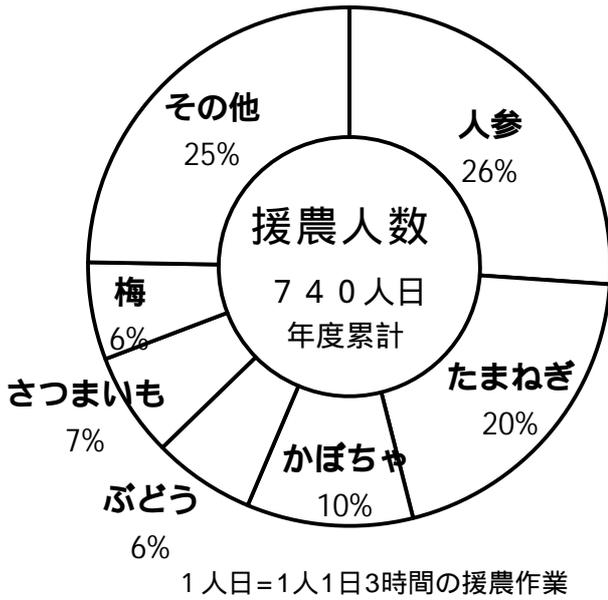
トマト箱作り、ミツバの出荷調製、野菜畑の除草
エンドウの収穫、キュウリの誘引
野菜播種（トウモロコシ、エダマメなど）
野菜苗の鉢上げ（カボチャ、ゴーヤなど）
野菜苗の定植（エダマメ・トウモロコシなど）

5月

トマト箱作り、ミツバの出荷調製、野菜畑の除草
エダマメの選別、サツイモの芽挿し
ジャガイモ収穫、野菜の定植（キュウリ・ナスなど）
キュウリの誘引、カボチャの敷き藁

援農作業実績 (11～1月)

てんぱく支部



三か月間(11月～1月)の援農実績は、222人日。
年度累計は、740人日。
三か月間の援農先は、5農家。

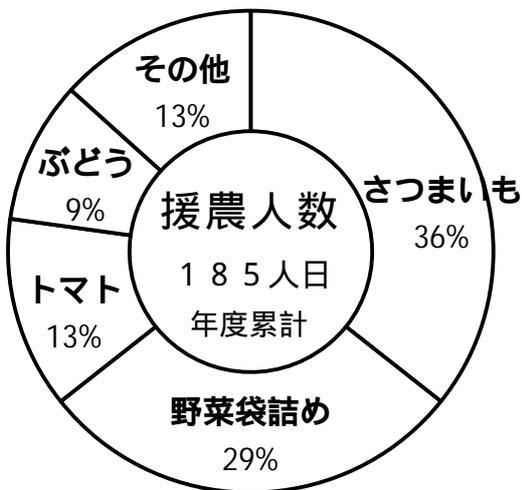
援農作業は、人参切り・収穫、梅の剪定、玉ねぎの定植等です。

昨年度(11月～1月)の援農実績 277人日
昨年度(4月～1月)の累計実績 847人日



人参の収穫

みどり支部



三か月間(11月～1月)の援農実績は、59人日。
年度累計は、185人日。
三か月間の援農先農家は、4農家。

援農作業は、園児(年小・中・長)のさつまいも収穫手伝い、野菜の収穫・袋詰め、ブドウ剪定等です。

昨年度(11月～1月)の援農実績 64人日
昨年度(4月～1月)の累計実績 185人日

援農作業実績 (11~1月)

もりやま支部

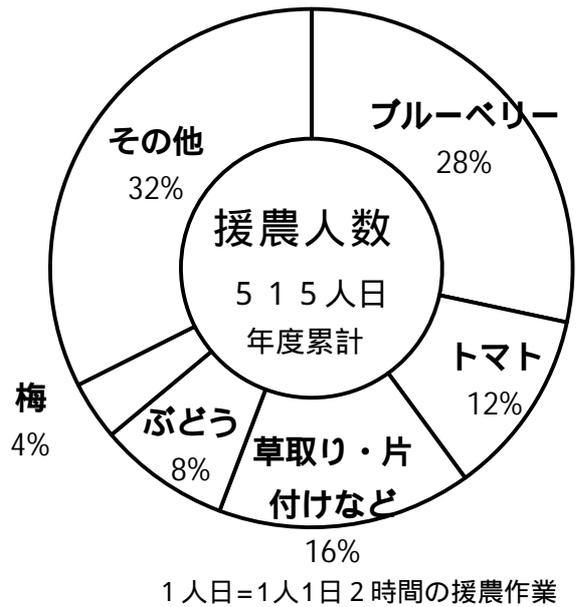
三か月間(11月~1月)の援農実績は、111人日。年度累計は、515人日。
三か月間の援農先農家は、3農家。

援農作業は、梅剪定、ブルーベリー剪定等、さつまいも収穫、正月飾り用藁準備、畑片付け等です。

昨年度(11月~1月)の援農実績 111人日
昨年度(4月~1月)の累計実績 542人日



ぶどうの剪定



港・中川支部

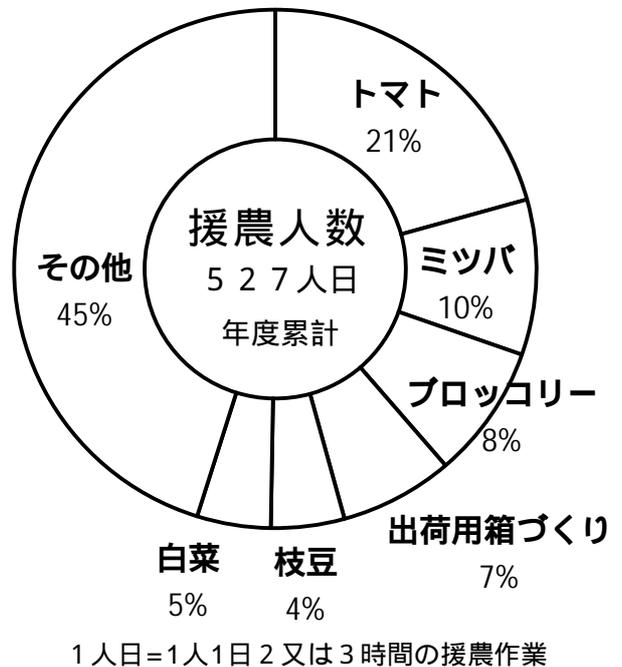
三か月間(11月~1月)の援農実績は、129人日。年度累計は、527人日。
三か月間の援農先農家は、4農家。

援農作業は、ブロッコリー収穫、里芋堀り・袋詰め、ミツバの出荷調整、トマト下葉とり・箱作り、白菜の収穫、野菜の販売補助、草取り等です。

昨年度(11月~1月)の援農実績 138人日
昨年度(4月~1月)の累計実績 430人日



収穫体験補助



農家さん紹介

プロフィール



昔から運動は好きで、テニスをやっています。最近、これにバドミントンが加わりました。夜、仲間で公共施設を借りて練習しています。

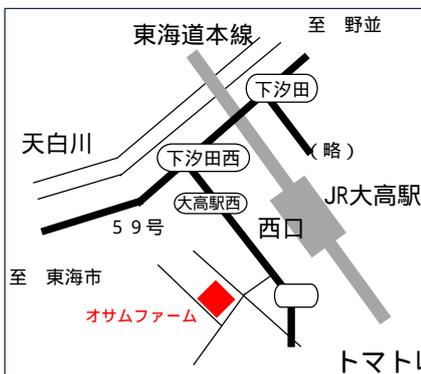
永井修さんを訪問しました。

永井さんは緑区大高町の農家さんで、永井さんは3代目です。トマトハウスは、大府市にあります。高齢の農家さんだと勝手に思っていたので、お会いして吃驚、予想（失礼）に反し、とてもお若い方（40代）でした。元々、トマト農家さんと思っておりましたが、トマトハウスは永井さんからです。昔からの田んぼもあるが、そこは知り合いの農家をお願いしているので、トマトの生産・販売に専念しているとのことでした。一時、園芸関係の会社に勤め、その後家業を継がれ、20年とのことでした。家業を継ぐ時お父様のお知り合いの方がトマト農家で、色々教えて頂き、この畑（ハウス）もその方にお世話になったとのことでした。トマトの他に花もハウスで育てようと思ったが、トマトに専念したとのことでした。当初、種から栽培を手掛けたが、労力の軽減の為、苗を購入して栽培していたが、うまくいかなかったので、4年前から市販の種を育てているそうです。トマトハウスの大きさは二反。栽培しているのはミニトマト、中玉、大玉の3種、4千株だそうです。9月に種まきを行い、1～6月まで収穫を行います。普段の作業はご夫婦で行われ、収穫の時期はお母様にも加わって頂き、3名で行うとのことでした。定植の時期をずらし、順に収穫が続きます。

収穫は1日おきに、午前7時半から午前10時迄行い、ご自宅に持ち帰って、ご自宅で直売されています。（すごく新鮮ですね。）直売なのでお客様と直接話しが出来、お客様からニーズ等も頂いているとのことでした。

トマトの栽培で大事なことは土づくりと温度管理です。トマトは急激な温度変化を嫌うため温度管理は、完全自動となっています。農楽会への援農依頼内容はトマト片付け、苗の配置、枯れ葉とり、伐採、下葉取り、支柱立て、堆肥まき、ポットへの土入れ、マルチ張りなどです。コロナの影響をお聞きしたところ、トマトを作ることに影響は無かったが、コロナを避けて、買いに来て下さるお客様が増えたとのことでした。

最後にこれからの夢についてお聞きしたところ、このまま、トマトづくりに専念し、3種類のトマトをバランスよく作り、品質にこだわりたいとのことでした。トマト農家も少なくなっています。農楽会の手伝いが少しでも役に立てば良いなと思います。



トマトの直売場所

名古屋市緑区大高町鶴田149 オサムファーム
(JR大高駅西口から歩いて約5分)

朝10:00～17:00まで(なくなり次第、閉店となります)
【日曜日定休】 (販売時期:2月～6月上旬)

トマト以外にも、タイミングが合えば、野菜や花、タマゴなどが並んでいるかもしれません。

【編集部より】

2020年2月号から掲載を始めた「農家さん紹介」は、今月号で終了とさせていただきます。取材にご協力頂きました21軒の農家様ありがとうございました。

誌面にて御礼申し上げます。

今後ともよろしくお願いたします。

はじめよう！ 家庭菜園は、誌面の都合上割愛させて頂きました。2024年5月号に掲載します。引き続きご覧ください。

あいちの伝統野菜



あいちの伝統野菜

次号は千石豆とえんどうを紹介します

今月号はハウレンソウです。

ハウレンソウはアカザ科の一年草でその野生種はコーカサスからイランにわたる地域にみられ、ペルシャで栽培が始まったものとされています。

その後イスラム教徒によって東西に伝えられ、ヨーロッパでは11世紀までにまずスペインに伝わり、14世紀にイギリス、16世紀にフランスに伝わり、やがてヨーロッパ全域に広まりました。

アメリカに渡ったのは1806年以降のことで、重要な野菜のひとつとなりました。

特に20世紀の初め缶詰加工が始まり、ハウレンソウ缶詰の栄養価値の-highいことが認められ消費が増加したことから栽培が大規模化し1920年代には10年間で作付面積が10倍に増加しました。

ハウレンソウ缶詰を握ったポパイの漫画はわが国でもハウレンソウへの認識を高めました。

中国にはヨーロッパよりも古くから伝わっていたことは確実（唐の時代に伝わったものと思われる）でシルクロードを経て漢の時代に渡来した説もあります。

中国各地に広まり、特に華北地方で盛んに栽培されるようになり、この間に東洋種が成立しました。

わが国では16世紀頃中国（東洋種）から渡来したものとされますが、それほど重要な野菜とならず、品種もほとんど分化しませんでした。

西洋種は文久年間（1862年）にフランスから導入されたのが最初で、明治初年にアメリカから4品種が導入されたが、日本人の嗜好に合わず普及しませんでした。

その後、大正末期から昭和初期に愛知県中島郡稲沢村治郎丸で在来の東洋種と洋種のホーランジアとの間の自然交雑品種「治郎丸」が育成され、これが量産で日本人の好みに合い、愛知県下から全国に普及しました。

また、このころ洋種も次第に栽培されるようになりました。ハウレンソウが栄養価値の高い野菜であることが認識され消費が増え、昭和16年からは農林省統計表にも載るようになりました。

ハウレンソウはビタミンA、Cやミネラルを多く含み栄養価値が高く、お浸しや和え物、煮食など和風、洋風、中国風の料理に用いられ重要な緑黄野菜です。

ただし、シュウ酸を含み結石の原因になる恐れがあるといわれ、特に洋種の場合はゆで汁は流した方がよいといわれています。

ハウレンソウには東洋種、西洋種の2品種群があります。東洋種は葉がうすく、欠刻が深く葉先が尖り根の上部が濃紅色で、このためハウレンソウは赤根菜とも呼ばれました。西洋種に比べてアクが少なく日本人の好みに合っていました。東洋種の種には二本の刺があり一般に刺種品種と呼ばれています。

西洋種は葉に欠刻が少なく厚くて波状に縮む品種が多く、根元の赤味が淡く土くさいとして日本人の好みに合いませんでした。しかし、東洋種より収量が多くそれに春の抽苔が遅く春まき栽培に適しています。タネには刺がなく俗に丸種品種と呼ばれています。

近年は両品種群間の交雑から育成された品種が多く、丸種でも葉に欠刻があったり土臭さが少ない、両群の中間的な特性を持つ品種が出回っています。

治郎丸（じろうまる）ほうれんそうが愛知の伝統野菜に選ばれています。



気温の低い時期には糖度が高くハウレンソウ特有の香りが高く、栄養価も高い

治郎丸（じろうまる）ほうれんそう

写真：あいち在来種保存会・「あいちの伝統野菜」畑から（ブログ）

参考文献

日本のふるさと野菜（一般社団法人日本種苗協会発行）

日本の野菜文化史事典（青葉高著 八坂書房2013）

あいち在来種保存会

愛知県HP愛・地産・アラカルト

（農業水産局農政部園芸農産課）

編集後記

農業センターしだれ梅まつりは2/17（土）から3/20（月・祝）まで行われます。指定管理者制度によるリニューアルオープンでイベントも開催されます。駐車料金は、1000円に値上がりしています。マダニ（と思われる）」に刺される事故が発生しました。援農中は、長袖の着用等肌の露出を少なくすることに留意ください。今年の総会は通常通り実施できそうです。これから暖かくなってくると農作業の季節となります。援農にいそしんでいきましょう。

発行 **なごやか農楽会事務局**（水野・佐藤） 令和6年2月25日発行

なごやか農楽会は、名古屋市内の農家のお手伝いを主な活動とする農業ボランティアグループ。

会員は、全て農業ボランティア育成講座修了生です。